

「名柄小・中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

宇検村立名柄小・中学校

2 学年・人数

小学1年生から中学3年生（計14人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年9月15日（金）・体育館

(2) 発表の日時・場所

令和5年9月24日（日）・運動場（運動会）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

古来から伝わる伝統的な踊りで，集落の豊年祭等の行事でチジンという太鼓に合わせて男女で輪になって踊る。

(3) 構成等

集落の住民

5 保存会や地域との連携の具体

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され，豊年祭も4年ぶりに開催されることとなり，集落では老人会を中心に勉強会・練習会が行われた。子供たちは運動会前に老人会に指導してもらい練習に取り組んだ。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

運動会当日，最後の種目として，参加者全員で踊り，会を盛り上げた。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【練習の様子1】



【練習の様子2】



【運動会での発表の様子1】



【運動会での発表の様子2】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【6年児童】

- ・ 足の動きなど難しかったけど、老人会の人に教えてもらって運動会の日には太鼓に合わせてみんなで踊ることができて楽しかった。

【教職員】

- ・ 地域の方と連携し、授業や行事を通して伝統芸能の継承につながる取組ができて良かった。

【老人会】

- ・ 子供たちの元気な姿を見ることができて良かった。八月踊りを受け継いでほしい。